

プロとビギナーのための生命科学情報サイト 「日本語バイオポータル」 リニューアル！

国立情報学研究所(所長：坂内 正夫)では、平成 16 年度より、理科離れを防ぎ、専門家と一般社会との相互理解の架け橋となることを目指したウェブサイト「日本語バイオポータルサイト・Jabion」(<http://www.bioportal.jp/>)を公開し、日本語で最先端の生命科学の世界に触れる場を提供してきています。

Jabion では、最先端の研究を分かりやすい解説でまとめた「コラム」や「注目ニュース」、高校生や大学生などの学習に役立つ「用語解説」のような一般向けのコンテンツと、日本語キーワード入力による英語文献検索や遺伝子のゲノム上での配置を見られるゲノムビューアなど、大学生を含めた多岐にわたる生命科学分野の研究者に利用しやすい研究者向けのツール提供を目的としたコンテンツを公開しています。月間 10 万を超えるアクセスがあり、学生や生命科学関連企業の方の利用があるほか、大学の講義で使用されるなど、広く認知されています。

公開から 5 年を迎えるにあたり、このほど、内容の一層の充実と使いやすさの向上を目指し、リニューアルを行いました。

<日本語バイオポータルサイトとは>

日本語バイオポータルサイト・Jabionは生物学や生命科学のポータルサイトです。

コラムやニュースではバイオの最先端の研究を紹介したり、教科書には載っていない、ニュースではよく耳にするような、気になる部分を解説したりしています。また、日本語で手軽に遺伝子やゲノム、文献情報、データベースなどの検索ができるので、勉強や業務など、さまざまな生命科学の知識が重要な場面でご活用いただけます。

<リニューアルのポイント>

1. ニーズの高いコンテンツをピックアップし、トップページをよりアクセスしやすいレイアウトに変更しました。
2. 昨年 4 月から、生命科学の専門家から成るスタッフが、毎週 Nature 誌と Science 誌から興味深い内容を精選し執筆、あるいは論文著者自身に本サイトのために書き下ろしを依頼することで、ソースの高い質を維持しながら分野の偏りを減らし、コンテンツの充実化を実現しました。
3. ゲノムビューアの機能を拡充。これまでの代表的な生物種 6 種（ヒト、チンパンジー、マウス、ラット、イヌ、ニワトリ）についての各遺伝子の解説やゲノム上の配置に加え、ゲノム配列が決まっている代表的な生物種 5 種（ヒト、マウス、ニワトリ、メダカ、ハエ）のデータを用いて 19,492 遺伝子（ヒト遺伝子の約 88.6%）について系統樹表示を実装しました。これは他に例がない機能と自負しています。
4. サイトの全体検索機能を装備。欲しい情報をキーワードでサイト全体から検索できる見やすいインターフェースを導入しました。コンテンツ毎に表示され、左には、生物学教科書においてどこに分類されるかを見ることがもできます。様々な情報を探す時間の負担を軽減します。
5. 国内の主要な研究機関の生命科学系のプレスリリースなどを検索できる「研究最前線」を公開。
6. 独立のコンテンツだったリンクと Be-Learning ナビを、他サイトへのインターフェース「リンク&ナビ」として統合し、一括して閲覧出来るようになりました。

<統計データ> (2009年6月19日時点)
コンテンツ数

コンテンツ	件数	最終データ更新日
コラム	54 件	2009年6月15日
ニュース	54 件	2009年6月17日
用語解説	6,502 件	2009年6月11日
リンク&ナビ	68 件	2009年6月10日
ゲノムビューアー		2008年10月7日
生物種	6 種	
遺伝子数	25,000 件	
総データ数	341,341 件	

<Jabion サイトトップページ>



(<http://www.bioportal.jp/>)

<<本件に関する問い合わせ先>>

広報資料執筆:

薦田多恵子 (国立情報学研究所)、藤山秋佐夫 (国立情報学研究所、国立遺伝学研究所)

<<報道に関する問い合わせ先>>

〒101-8430 千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 広報普及チーム (担当: 佐久間)

TEL: 03-4212-2131 E-mail: kouhou@nii.ac.jp